

会計専門職大学院修得・修了見込届出書
(令和 7 年公認会計士試験第 II 回短答式試験用)

令和 年 月 日

公認会計士・監査審査会会長 殿

〒 _____
住 所 _____
フリガナ _____
氏 名 _____
生年月日 昭和・平成 年 月 日 _____
電話番号 _____
(日中連絡可能な電話番号)

令和 7 年公認会計士試験第 II 回短答式試験の出願にあたり、令和 7 年 3 月に会計専門職大学院を修了見込であるため、修了した場合は下記の科目の免除の適用を受けることを希望します。

なお、免除要件の確認のために、公認会計士・監査審査会から本届出の添付書類の発行機関に対して必要な照会を行うことについて、同意します。

記

免除の適用を 受けた科目	短答式試験		
	財務会計論	管理会計論	監査論

既に免除通知書をお持ちの方は、免除通知書番号及び科目を記載ください。

免除通知書番号： _____ 科目： _____

〈注意事項〉

- ※ 本届出書は、受験案内公表後から令和 7 年 2 月 25 日（消印有効）の期間に提出してください。
- ※ 免除の適用を受けたい科目に○を付すこと。○を付していない科目については、免除の適用を受けることはできませんのでご注意ください。
- ※ 本届出書には、会計専門職大学院発行の「修得・修了見込証明書」(原本)を添付してください。
「修得・修了見込証明書」は、必ず指定の様式を使用してください(審査会から会計専門職大学院宛てに様式を送付しております)。「修了見込証明書」や「成績証明書」等は受け付けません。
- ※ 出願は別途、出願期間内に行ってください。出願事項入力の際は、画面に従って該当箇所を選択してください。
- ※ 免除の適用を受けるためには、修了後、令和 7 年 4 月 9 日(必着)までに免除申請を行う必要があります。詳しくは受験案内を確認してください。
期限までに免除申請が行われない場合は、免除の適用を受けることはできません。

記載例①

(日本工業規格 A4)

届出日を記入してください。
※修得・修了見込証明書の証明日より後とすること。

験用)

令和×年×月×日

公認会計士・監査審査会会長 殿

住所、氏名、生年月日、電話番号を記載してください。氏名フリガナの記載漏れにご注意ください。

〒 ×××-××××

住 所 東京都千代田区霞が関〇-〇-〇
〇〇アパート 101 号

フリガナ カイケイ タロウ

氏 名 会 計 太 郎

生年月日 昭和・平成 ××年××月××日

電話番号 ×××-××××-××××

審査会から届出内容の確認や補正指示を行う場合があります。

(日中連絡可能な電話番号)

令和 7 年公認会計士試験第 II 回短答式試験の出願にあたり、令和 7 年 3 月に会計専門職大学院を修了見込であるため、修了した場合は下記の科目の免除の適用を受けることを希望します。

なお、免除要件の確認のために、公認会計士・監査審査会審査機関に対して必要な照会を行うことについて、同意します。

免除の適用を受けたい科目に○を付してください。○を付していない科目については、免除申請後に免除可となった場合でも、該当の試験で免除の適用を受けることはできません。

記

免除の適用を受けたい科目	短答式試験		
	財務会計論	管理会計論	監査論
	○	○	○

既に免除通知書をお持ちの方は、免除通知書番号及び科目を記載ください。

免除通知書番号： _____ 科目： _____

〈注意事項〉

- ※ 本届出書は、受験案内公表後から令和7年2月25日（消印有効）の期間に提出してください。
- ※ 免除の適用を受けたい科目に○を付すこと。○を付していない科目については、免除の適用を受けることはできませんのでご注意ください。※ 本届出書には、会計専門職大学院発行の「**修得・修了見込証明書**」(原本)を添付してください。「**修得・修了見込証明書**」は、必ず指定の様式を使用してください(審査会から会計専門職大学院宛てに様式を送付しております)。「修了見込証明書」や「成績証明書」等は受け付けません。
- ※ 出願は別途、出願期間内に行ってください。出願事項入力の際は、_____ 選んで該当箇所を選択してください。
- ※ 免除の適用を受けるためには、修了後、**令和7年4月9日** _____ あります。詳しくは受験案内を確認してください。

期限までに免除申請が行われない場合は、免除の適用を受

会計専門職大学院に発行依頼をする際に、『会計士試験の免除に使用するための「修得・修了見込証明書」を発行したい』とお伝えいただくとスムーズです。

記載例② 既に財務会計論の免除通知を取得している場合

(日本工業規格 A4)

届出日を記入してください。
 ※修得・修了見込証明書の証明日より後とすること。

(受験用)

令和×年×月×日

公認会計士・監査審査会会長 殿

住所、氏名、生年月日、電話番号を記載してください。氏名フリガナの記載漏れにご注意ください。

〒 ×××-××××

住 所 東京都千代田区霞が関〇-〇-〇
 〇〇アパート101号

フリガナ カイケイ タロウ

氏 名 会 計 太 郎

生年月日 昭和・平成 ××年××月××日

電話番号 ×××-××××-××××

審査会から届出内容の確認や補正指示を行う場合があります。

令和 7 年公認会計士試験第 II 回短答式試験の出願にあたり、令和 7 年 3 月に会計専門職大学院を修了見込であるため、修了した場合は下記の科目の免除の適用を受けることを希望します。

なお、免除要件の確認のために、公認会計士・監査審査会審査機関に対して必要な照会を行うことについて、同意します。

免除の適用を受けたい科目に○を付してください。○を付していない科目については、免除申請後に免除可となった場合でも、該当の試験で免除の適用を受けることはできません。

記

免除の適用を受けたい科目	短答式試験		
	財務会計論	管理会計論	監査論
		○	○

既に免除通知書をお持ちの方は、免除通知書番号及び科目を記載ください。

免除通知書番号： 1 2 3 4 5 6 科目： 財務会計論

〈注意事項〉

- ※ 本届出書は、受験案内公表後から令和7年2月25日（消印有効）の期間に提出してください。
- ※ 免除の適用を受けたい科目に○を付すこと。○を付していない科目については、免除の適用を受けることはできませんのでご注意ください。※ 本届出書には、会計専門職大学院発行の「**修得・修了見込証明書**」(原本)を添付してください。「**修得・修了見込証明書**」は、必ず指定の様式を使用してください(審査会から会計専門職大学院宛てに様式を送付しております)。「修了見込証明書」や「成績証明書」等は受け付けません。
- ※ 出願は別途、出願期間内に行ってください。出願事項入力の際は、を付けて該当箇所を選択してください。
- ※ 免除の適用を受けるためには、修了後、**令和7年4月9日**までに免除申請が行われない場合は、免除の適用を受けられません。詳しくは受験案内を確認してください。

会計専門職大学院に発行依頼をする際に、『会計士試験の免除に使用するための「修得・修了見込証明書」を発行したい』とお伝えいただくとスムーズです。